

令和2年第1回大野市環境保全対策審議会（R2.5.29開催）を
踏まえた資料の修正（新旧対照）

※修正箇所（赤字）に関係する部分のみ抜粋

≪資料5≫「第二期環境基本計画 重点プロジェクト別 数値目標の達成状況」

【修正後】

3 豊かな里地里山づくり施策				
評価:達成度(対目標値) ◎101以上 ○80~100 △79以下				
項目	目標値 (見直し後)	実績値	達成度	評価
		H30年度	対目標値	
農用地面積の目標値	②3,900ha	3,989ha	102	◎

【修正前】

3 豊かな里地里山づくり施策				
評価:達成度(対目標値) ◎101以上 ○80~100 △79以下				
項目	目標値 (見直し後)	実績値	達成度	評価
		H30年度	対目標値	
農用地面積の目標値	②3,900ha	3,989ha	102	○

≪資料6≫「第三期環境基本計画策定の策定方針」

【修正後】

■第三期計画に考慮すべき事項

⑤環境教育

- ・ 自然体験や環境学習等の情報提供及び実践

【修正前】

■第三期計画に考慮すべき事項

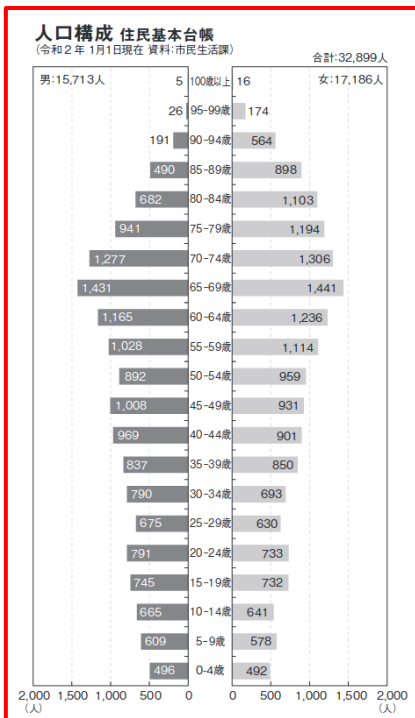
⑤環境教育

- ・ 自然体験や環境学習等の情報提供

≪資料7≫第三期大野市環境基本計画 アンケート基本方針

【修正後】

対象 16歳以上 1,200件、事業所 300件、中学3年・小学6年 535件
 ⇒16～17歳、中学生・小学生を加え、若年層の意見を反映させる
 前回 市民 18歳以上 1,000件、事業所 500件 前々回 市民 18歳以上 1,000件



■人口構成を考慮せずに無作為抽出した場合			
	R2.1.1現在の 住民基本 台帳人口	1,200人 当たりの 抽出数	回答数の 見込み (回収率40%)
80以上	4,149	170	68
70～79	4,718	193	77
60～69	5,273	215	86
50～59	3,993	163	65
40～49	3,809	155	62
30～39	3,170	129	52
20～29	2,829	115	46
15～19	1,477	60	24
(15歳以上)	29,418	1,200	480
0～14	3,481		
	32,899	1,200	480
■人口構成を考慮し、各世代同数になるよう抽出した場合			
		各世代 150人ずつ 抽出	回答数の 見込み (回収率40%)
80以上		150	60
70～79		150	60
60～69		150	60
50～59		150	60
40～49		150	60
30～39		150	60
20～29		150	60
15～19		150	60
(15歳以上)		1,200	480
0～14			
		1,200	480

- ①人口構成は、65歳から69歳が最も多く、人口に占める60歳代の割合が約16%に対し、20歳代、30歳代は10未満と偏りがある。
- ②人口構成を考慮せずに無作為抽出した場合、15～39歳の回答者数が確保できない可能性があり、若年層の意見を把握するための標本数が不足しかねない。

⇒世代ごとの分析をするために、各年代からそれぞれ150人を無作為抽出する

【修正前】

対象 16歳以上 1,200件、事業所 300件、中学3年・小学6年 535件
 ⇒16～17歳、中学生・小学生を加え、若年層の意見を反映させる
 前回 市民 18歳以上 1,000件、事業所 500件 前々回 市民 18歳以上 1,000件

≪資料8≫「環境に関する市民アンケート調査票」

【修正後】

ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答は、あて名のご本人がご記入ください（代筆も可能です）。

【修正前】

ご記入にあたってのお願い

- ・本アンケートの回答者は、封筒の宛名の本人に限らず、ご家族の方ならどなたでも構いません。

≪資料10≫「環境に関する小学生・中学生 アンケート調査票」

【修正後】

問6 大野市やあなたの家の周りなどの環境を守るために、あなたができること、参加したいと思うことを3つ選んで番号を書いてください。

- 6 身近な自然（動植物や昆虫・化石）の観察会
- 7 外来生物（もともと日本に生息していない動植物）を見つけて駆除する活動
- 8 野外キャンプなどの自然を体験するイベント

※7を追加

【修正前】

問6 大野市やあなたの家の周りなどの環境を守るために、あなたができること、参加したいと思うことを3つ選んで番号を書いてください。

- 6 身近な自然（動植物や昆虫・化石）の観察会
- 7 野外キャンプなどの自然を体験するイベント